



JAGT 日本ゲシュタルト療法学会

第6回ワークショップ大会 in 大阪

『こころと身体の統合』 ～気づきと体験～

〈大会長〉

平松みどり

(アウェアネスみどり会)

2016年1月9日(土)・10日(日)



グランキューブ大阪

(大阪府立国際会議場)

◇ 後援団体 ◇

日本交流分析学会 / NPO法人 日本交流分析協会 / NPO法人 センサリーアウェアネスジャパン



平松みどり
(アウェアネスみどり会)

第6回ワークショップ大会を大阪で開催させて頂くことになりました。心から嬉しく思っています。ゲシュタルトの哲学を基に「今ここ」を大切に作るワークショップ大会にしたいと思っています。今回のテーマを「こころと身体の統合」にさせて頂きました。テーマに相応しい内容をと思案しました。

一つは、ゲシュタルト療法に大きな影響を及ぼした「センサリーアウェアネス」と、二つ目に、身体エネルギーを総合的に発揮する「アレクサンダーテクニーク」、三つ目に、他者の生き方に関与する私たちに欠くことのできない「現象学」をご専門の山口一郎先生をお迎えすることにいたしました。

センサリーアウェアネスは「気づき→自己・からだ・環境」との関わりです。人間の本来のあり方に関するものです。

Sensory Awarenessの講師ジュディス・O・ウイバー先生はセンサリーアウェアネス実践者の世界的存在です。付加させて頂くとジュディスは日本で禅を体験されました。カナダのホリホック研究所で披露して下さった日本刀真剣で舞う剣武のお姿は忘れられない魅惑的なものでした。

Alexander Techniqueの講師バジル・クリツァー先生は姿勢、体の動きを掴むことで声・音・が変化し、体の痛みも楽になるテクニックをお持ちの大家です。今回、会場の関係で、楽器は持ち込めませんが、声・体に関してはご指導が受けられると思います。カラオケで友人を驚かせる声の出し方をご体験してください。お勧めします。

山口一郎先生は哲学者で、その中でも難解と言われている「現象学」がご専門です。間主観性（他者との関係）からみたこころと身体のお話をさせていただきます。

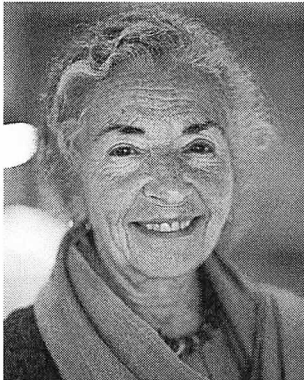
また、会員からも大会テーマ「こころと身体の統合」に沿ったワークショップを募集したところ、多くの大変興味深い内容の応募をいただきました。どうぞご参加ください。

皆様が楽しく気づき、「参加してよかった」と感じて頂ける大会にしたいと考えています。

後期高齢者の身分でありながら今回、大会長を仰せつかり光榮に思っています。ご支援ご協力を賜り感謝のこころをお伝えして大会長の挨拶にさせていただきます。



「センサリーアウェアネス：ゲシュタルト療法におけるその重要性」



ジュディス・ウィーバー氏

通訳：池島良子

多領域の豊富な経験を取り入れた独自のアプローチを用いて教師およびカウンセラーとして活動。ライヒ派心理学において博士号を取得。サンタ・バーバラ大学院の共同設立者の一人であり、同大学院のソマティック心理学博士課程の創設者でもある。

1960年代、カリフォルニア州ビッグ・サーのエサレン研究所においてフリッツ・パールズからゲシュタルト・セラピーの教えを受けた。またその後サンフランシスコのゲシュタルト・セラピー・インスティテュートにおいて他のゲシュタルト・セラピストたちからも学んでいる。

ライヒアン・セラピー、ソマティック・エクスペリエンス、マッサージ、バイオダイナミック・クラニオセイクラル・セラピーの資格を保持。また周産期心理学、太極拳、ローゼンメソッド、センサリーアウェアネスの分野では教師として指導を行っている。

現在、ワシントン州シアトルとブリティッシュコロンビア州コルテス島で個人開業。また世界各地で指導にあたっている。

ゲシュタルト療法の二人の創始者は、後にセンサリーアウェアネスと名付けられることになるあるプロセスを学び、それを彼らのセラピーワークへと取り入れました。

1947年フリッツ・パールズは妻ローラに宛てた手紙のなかで、シャーロット・セルバーとのワークについてこのように書いています。「私は、ついに長年探し求めていたものを見つけた。これまでどんな流派にもなかったものだ。それは、わたしの理論を補強するだけでなく、完全な基礎構造となるものだ」同じく1947年に書いた別の手紙では「コンセントレーション・エクササイズによって私が求めていたものがそこにあるだけではない。そのストレスに対する応答は正反対であり、とても繊細なのだ」とも書いています。一方でローラ・パールズは、1930年代初期にベルリンのエルザ・ギンドラーのもとで学んでいます。

エルザ・ギンドラーが行っていたのは、ちょっとした提案を生徒に与えたり、あるいは彼らに実験の場を提供するというものでした…つまり彼女は生徒たちに技術ではなく、彼ら自身が自らを探求してゆく機会を与えていたということです。パールズ夫妻は、気づきを促す方法として彼女のこの経験的なアプローチをゲシュタルト療法へと取り入れました。

エルザ・ギンドラーのこのシンプルで深いワークをアメリカ合衆国へもたらしたのは、彼女の生徒の一人であったシャーロット・セルバーです。またセルバーによってこのワークにセンサリーアウェアネスという名が与えられました。

セルバーとのワークを徹底的かつ集中的に深めてゆくなかで、フリッツ・パールズは今この瞬間に存在すること、姿勢やジェスチャーや（内側と外側の）空間に注意を向けること、全身全霊をもって今ここにどまることの重要性と本質を自身のワークへと組み入れてゆきました。パールズはその教えのなかでセンサリーアウェアネスの土台となっているものを発展させ、それをゲシュタルト療法の大きな部分としていったのです。

このプラクティス（訳者注：センサリーアウェアネス）はただ感じるということです。けれどもこのシンプルなプラクティスが、それぞれの内側に宿る豊かな自然性、確かな自分、生命力へと私たちを立ち返らせてくれます。その豊かさに支えられながら、私たちは自らの経験や感覚を深く探索してゆくのです。こうした感覚的な探索によって信頼や安心感がはぐくまれ、自らに与えられた生をより十分に生き、そしてそこから喜びを見いだすことができるでしょう。自分自身の本来性へと近づくにつれ、自分らしく他者と関わりあ

えるようになります。そうした関係性のなかで感じられた安らぎと満足感はクライアントや生徒へも伝わり、またさらにはより大きく社会に広がってゆくだらうと思います。

わたしがセルバーのもとで学び始めたのは日本から帰ってきた1968年のことです。それまでは日本で古典芸能を学ぶとともに、多くの時間を禅の僧院で生活していました。そして1969年にパールズに会い、彼や初期のゲシュタルトの教師たちから学びました。最近では“マインドフルネス”という名で多くの人に知られるようになっていますが、センサリーアウェアネスはセラピーのプロセスにおいて最も大切です。なぜならセンサリーアウェアネスは、洗練され成熟した大人になるために努力する中で私たちが失ってしまったかつての子ども時代の自由・自発性・喜びを再び取り戻す役に立つからです。もし私たちが本来の人間性へと立ち戻ったなら——自分が今何を感じているのかに気づき、自らの直感に従うなら——自分は何をすればいいのか、どこへ向かえばいいのか、どうあればいいのかを知ることができるでしょう。私たちは安らぎと幸せをもって自らの人生を生き、また他者もそうであるようにと手助けすることができるのです。

1974年フリッツ・パールズは著書のなかでこう述べています「これを理解することは、非常に大きな意味があるとわたしは信じている。つまり気づきとは本質的に——それによってあるいはそれ自身が——治療的であるということだ」わたしも彼と同感です。それがセンサリーアウェアネスです。わたしはこのワークを日本へ、そして日本ゲシュタルト療法学会に伝えることができ、とても嬉しくまた誇りに思っています。



招聘講師ワークショップ

804号室

「人と人の『あいだ』からみたところと身体 —— 現象学の考察」



現象学
山口 一郎氏

1947年 宮崎県に生まれる
1974年 上智大学文学部文学研究科哲学修士課程修了
1979年 ドイツ、ミュンヘン大学哲学部、哲学博士 (Ph. D) 取得
現在 東洋大学文学部客員教授、放送大学客員教授
専攻 現代哲学 (現象学)、間文化哲学

【主な著書】

他者経験の現象学 (国文社) / 現象学ことはじめ (日本評論社) / 文化を生きる身体 (知泉書館) / 存在から生成へ (知泉書館) / 人を生かす倫理 (知泉書館) 等

「心と身体との相互のかかわり方」というテーマは、カウンセラーにとって、重要で大きなテーマです。今回、私がこのテーマで強調したいことは、個々人の「心と身体つながり」は、個々人別々の「心と身体つながり」としてではなく、他の人々との人間関係、とりわけ「共感したり、しななかったりする」そのつど人々のあいだで共有される時間をとおして生じていることです。このことが、現象学という哲学をとおして、皆さん各自の心にはっきり実感できるような、さまざまな具体的事例をとおして分かりやすく説明します。



「アレクサンダー・テクニーク」



アレクサンダー・テクニーク
バジル・クリッツナー氏

アレクサンダー・テクニークとは、19世紀生まれの俳優 F.M.アレクサンダーにちなんだ名称であり、直訳すれば「アレクサンダー法」ということとなります。F.M.アレクサンダーは将来有望な俳優でしたが、声が出なくなってしまう問題に悩まされました。医療では解決しなかったため、彼は自らの声の出し方を徹底的に観察していくなかで声を取り戻し、俳優の夢を実現しました。その経験から整備されていった「やりたいことをやるための方法」がアレクサンダー・テクニークです。

ホルン奏者。1984年香港生まれ日本育ちのアメリカ人。エッセン・ Folkwang 芸術大学（ドイツ）卒業。現在、BodyChanceメソッド（アレクサンダー・テクニーク）教師として音楽家を対象にレッスン活動を行う。東京藝術大学大学院、大阪音楽大学、昭和音楽大学、上海オーケストラアカデミー、浜松国管楽器アカデミーなどで講師を務める。著書に「徹底自己肯定楽器練習法」ほか

アレクサンダー・テクニークは抽象性と普遍性の高い手法です。まずは音楽にどのように応用されているか、音楽の練習にどのように組み込まれるか、舞台のあがり症を乗り越えることにどう使われるかをお話します。そこから徐々に心理療法のワークとの接点を探ります。みなさまの趣味の音楽活動にも、そして心理療法のワーク（姿勢、あり方、声）にも直接レッスンをする時間を設けますので、思い切ってお参加ください。

〈1月9日 14:00—17:00〉

テーマ1 『舞台上で自分自身全体であるために』 ～音楽とアレクサンダー・テクニーク～

音楽家をプロアマ問わず悩ませ、ときには絶望のどん底に突き落とすのが舞台に立つときの緊張（あがり症）です。これが医療で扱えるような症状が原因であるならばよいお医者さんとの出会いで解決に向かいますが、そうでないケースもしばしばです。アーティストとして、音楽を奏でることの全体性を理解し、またアレクサンダー・テクニークを基礎に組み込むことであがり症を乗り越える力を育てていくことができます。あがり症歴15年の講師が自らの体験をふまえ、お話しします。

〈1月10日 9:00—12:00〉

テーマ2 『クライアントと向き合う自分自身をラクにする』

19世紀の俳優、F.M.アレクサンダーは声が出なくなってしまう症状に悩まされました。当時の医療では解決が望めず、アレクサンダーは自らの声の出し方、そして声を出そうとしているときの自分全体の使い方を何年も観察し、その原因を見つけ、解決法を見出しました。声は見事に復活し、それだけでなく体調や存在感全体が以前以上に継続的に向上していきました。その方法を「アレクサンダー・テクニーク」と言います。この「アレクサンダー・テクニーク」を、クライアントと向かう自分自身に活かす方法を、実践的にお伝えします。

〈1月10日 13:30—16:00〉

テーマ3 『日常動作にアレクサンダー・テクニーク』

パソコン作業、歩行、書物、荷物の上げ下ろし、ハイヒール、趣味のヨガやランニングetc……日常の様々な動作を題材にしてもっとラクで効率的な身体の使い方を模索しましょう。うまくいけば、肩こりや腰痛がラクになります。直接ロールプレイング形式でレッスンをしますので、聴講だけでなく直接参加&レッスン受講をするつもりでいらしてください。



A 百武正嗣 (ももたけ まさつぐ)

所属団体：GNJ (ゲシュタルトネットワークジャパン)

タイトル：『フェルデンクライス～身体感覚への気づき～』

801号室

〈内容〉赤ちゃんは手足や身体の微細な動きの中から「学習」をはじめます。意識をマイクロムーブメントに向けることで脳に刺激が伝わり、脳の発達と自己成長の道を歩んでいきます。

〈プロフィール〉ゲシュタルト療法と同時にフェルデンクライスを学ぶ。心の気づきと身体への気づきを統合させたセミナーを展開。NPO法人GNJ理事長、フェルデンクライスメソッド国際資格

〈メッセージ〉動きやすい服装、できれば素足になれるご準備でいらしてください。バスタオルまたはヨガマットをご持参ください。

B 岡田法悦 (おかだ のりよし)

所属団体：ゲシュタルト・インスティテュート

タイトル：『からだとの対話 -感覚に聴くあなたの深層-』

805号室

〈主旨〉F. パールズは「未完の事柄は筋肉の中に潜り込む」と言いました。からだは、頭よりあなたの深層（地の構造）をよく知っているのです。感覚の声を聴きからだと対話することで、新たな自分との出会いが体験できます。

〈プロフィール〉1986年、Paula Bottomeと出会いゲシュタルトの世界へ。1987年、ゲシュタルト・インスティテュート(株)設立。RQモードを開発し、チームビルディングなど各種研修、カップルセラピー、カップルセラピスト養成講座に応用。

C 藤原 勝 (ふじわら まさる)

所属団体：ゲシュタルト療法・東京

タイトル：『クリーブランド、エサレン、フィンドホーンで学んだエクササイズ』

806号室

〈主旨〉日本国内ではあまり知られていませんが、心や体に深く入っていくエクササイズをご紹介します。これからワークショップ開催を検討されている方にもエクササイズとゲシュタルトワークの関係などがわかるような説明をしたいと思います。

〈プロフィール〉再決断療法・ゲシュタルトと出会って30数年。クリーブランドゲシュタルト研究所では10回のトレーニングコース終了、エサレンは3回参加。本業は組織開発、リーダーシップ開発の研修コンサルタントですが、公開コースとして年数回ゲシュタルトを使った2泊3日のワークショップを開催し年々様々な年齢、性別、職業、地域の方が参加されて喜んで帰っていかれます。

D 河村葉子 (かわむら ようこ)

所属団体：GNJ (ゲシュタルトネットワークジャパン)

タイトル：『ダンス！ダンス！！ダンス！！！！』

1102号室

〈内容〉感じるままに、あなたの中の感覚、あなたの中の流れに身を任せていきましょう。ここには正解も間違いもありません。上手に踊ることを考えないで！自分のリズムで歩くだけでダンスなので。ダンスで自分に触れる、自分と繋がる時をご一緒にしましょう。

〈プロフィール〉ハートフリースペース カウンセリングルーム主宰、NPO法人ゲシュタルトネットワークジャパン スタッフ・ファシリテーター。ゲシュタルト療法を通じて、生き生きと生きる自然の豊かな叡智を信頼し、探求する手伝いをしている。

〈メッセージ〉飲み水、動きやすい服装、できれば素足になれるご準備でいらしてください。

E 山本 直 (やまもと ただし)

所属団体：アウェアネスみどり会

タイトル：『身体との対話』

1101号室

〈主旨〉センサリーアウェアネスからゲシュタルトセラピーへの流れを基本にして、身体からの気づきを促す。様々な身体への気づきなど味わいながら「今、ここ。」を体験するワーク。

〈プロフィール〉2000年に関西で始まったポーラ・バトムのゲシュタルト養成講座を受講。その後も平松みどり先生のもとにて、みどり会で百武先生を始め、モーガン、トニー、など様々な講師を招き研修を深める。また、2007年よりジュディス・ウェーバーのセンサリーアウェアネスを受け続け主催などする。元高校教員、現在看護専門学校で『家族論 (家族療法)』を担当。



会員ワークショップ

1月10日(日)午前

F 守谷京子(もりや きょうこ)

所属団体：IPG (パーソナルグロース研究所)

タイトル：『身体は語る』

1201号室

〈内容〉私は胎児の時から死にそうな病気を繰り返し、学生時代1ヶ月続けて出席したことはなく、ゲシュタルト療法に出会い初めて病気は友だちと思えるようになりました。『病気は弱いのでなく繊細なんだ!!』身体に気づき、自分らしい生き様を貫く…そんなワークショップにしたいです。

〈プロフィール〉1983年リッキー・リビングストーン氏に師事し、現在までゲシュタルト・セラピストとしてキャリア積む。国内では、警察官、'03年より大企業のCEO候補へのリーダー研修等企業コンサルテーション、'90年より3年間のセラピスト養成講座を継続的に提供し、今現在も継続。国外では、米英でのワークショップ展開、'07年2月エサレン研究所(米)にて日本人初のゲストとしてセラピーを提供。理論に裏打ちされた創造的なワークショップの提供を得意とする。

〈メッセージ〉パンツルック(フロアに寝て人型をとります)。クレヨン、筆記用具、ヨガマット(任意)を準備願います。病気、怪我などの簡単なご自分の歴史メモがあれば役に立ちます。

G 江夏 亮(えなつ あきら)

所属団体：カリフォルニア臨床心理大学院日本校、江夏心の健康相談室

タイトル：『ゲシュタルト、スーパーヴィジョン』

806号室

〈主旨〉ゲシュタルトセラピーに関して、ファシリテーター集会のようなライブスーパーヴィジョンを行います。また、個人でゲシュタルトやカウンセリングを行っているケースについての検討も希望者に行います。

〈プロフィール〉日本ゲシュタルト療法学会副理事長、日本ゲシュタルト療法学会 スーパーバイザー

H 野妻裕美(のづま ひろみ)

所属団体：ゲシュタルト アート フォーカシング ネット

タイトル：『繊細に大胆に、からだと出会う』

1010号室

〈主旨〉人は本来自分のからだの感覚を信じ、世界を探求し楽しむ事が出来るのです。からだは何よりも私達自身を良く知っています。そのからだを愛しみ、繊細に、そして大胆に歩みより、今の私(からだ)と出会しましょう。

〈プロフィール〉鹿児島にてゲシュタルト療法トレーニングを受ける。ファミリーコンステレーショントレーニングを終了。3年間のボディワークを受ける。ゲシュタルト療法を通して、自分らしく生きるイルカの会を毎月開催。その他、親子、家族関係メンタルヘルスに関する講座、講演を提供。ゲシュタルト療法の真髄、身体感覚と向き合う事を大切にしている。

〈メッセージ〉動きやすい服装、素足になれる準備をお願いします。

I 山本誠司(やまもと せいじ)&**有村 凜**(ありむら りん) 所属団体：ゲシュタルト アート フォーカシング ネット

タイトル：『繊細なからだへの気づき～ゲシュタルト療法とフォーカシングの統合～』 805号室

〈内容〉ゲシュタルト療法とフォーカシングを統合したアプローチは、繊細で深い気づきと関係性を作り上げます。ゲシュタルト療法を深めるためのフォーカシングを体験してもらいます。

〈プロフィール〉百武正嗣氏を中心としたGNJ講師の指導の下、ゲシュタルトトレーニング修了。その後も10年以上ゲシュタルト療法の自己研鑽を続けながらゲシュタルトトレーニングを実施している。また、フォーカシングの経験も10年を越え、フォーカシング体験ワークショップなども開催している。現在、有村は心理カウンセラーとして精神科でのカウンセリングや教育関係等での研修を多数実施。山本は、企業においてゲシュタルト療法やフォーカシングを生かした関わりを実践している。

J ジャクリーン・ヒルトン

オーストラリア

タイトル：『自分と自分のからだの対話的あり方』～ヨガとゲシュタルト～
(The I-thou relationship with your body)

10-1号室(1010号室の隣)

〈主旨〉私たちの体は今まで体験したことすべて表している。一つ一つの感情、思考、経験はすべて、私たちの身体に溜まっていく。それらは、私たちが意識的に処理し、置き放つまで、佇まいや顔を形成し続ける。

〈プロフィール〉シドニー大学で日本語の学位を習得。シドニーのヨガスクールで解剖学、生理学などを学び、ヨガ教師をつとめる。オーストラリアのTerrigal Gestalt Instituteでゲシュタルト療法を学ぶ(4年間コース修了)。日本滞在中は、金沢市の国際交流コーディネーター、フリーランス通訳者、英語教師として活動。タイ、オーストラリアで、ヨガ、英語、日本語などの教師をつとめ、ゲシュタルト・カウンセラー、グループ・ファシリテーターとしても活動中。

〈メッセージ〉バスタオルと素足になれるような準備をお願いします。



K 道澤康子(みちさわ やすこ)・**長谷川 伸**(はせがわ しん)・ 所属団体：無所属、GNK、アウェアネスみどり会
溜 久美子(たまり くみこ)・**安田順子**(やすだ じゅんこ)・**沼澤知子**(ぬまざわ ともこ)
タイトル：『超初心に還ろう ゲシュタルト療法～ひたすら気づくワークショップ～』 1010号室

〈主旨〉エクササイズにより3つの領域を味わい、湧き上がってくる何かに気づく。それを参加者でシェアしながら、深くゆったりと感じる静かなワークショップです。
 〈プロフィール〉道澤：GNK2期トレーニング終了。看護師。長谷川：GNK2期トレーニング終了、みどり会アドバンスコース在籍。大学教員。溜：GNK2期トレーニング終了、みどり会アドバンスコース在籍。デザイナー。安田：GNK2期トレーニング終了、みどり会アドバンスコース在籍。内科・心療内科医。沼澤：GNK2期トレーニング終了、みどり会アドバンスコース在籍。看護師。

L 賀戸若江(がと わかえ) 所属団体：アウェアネスみどり会
タイトル：『ボディサイコセラピー体験』 806号室

〈主旨〉エクササイズにより、身体に刻まれている心の癖に気づく。ブロックのある部位(筋肉の鎧化)と生じる感情の関係。硬直の解除法(エクササイズ体験)グラウンディング、フェイシング、センターリングのエクササイズ。
 〈プロフィール〉都市銀行、漢方クリニック、保育園、大手電器メーカーなど職歴を経て、バイオシンセシス5年トレーニング、TAアドバンス、マイクロカウンセリング、インナーチャイルドなど各種トレーニングを修了し、現在ボディサイコセラピスト・心理カウンセラーとして心彩を設立し、個人セッションや各種グループワークを提供中。
 〈メッセージ〉身体を動かす感じるといことをしますので、動きやすい服装でご参加ください。

M 前島佳代子(まえじま かよこ) 所属団体：ゲシュタルト療法・東京
タイトル：『リレーショナル・ダンス』 10-1号室 (1010号室の隣)

〈主旨〉ゲシュタルトは、自分を大切にすることだと感じています。頑張っている自分、無理している自分に気づいたら、少し呼吸を変えてみませんか？肩の力が抜けて、身体が軽くなります。一緒に感じてみませんか？
 〈プロフィール〉メンタルヘルス協会認定心理カウンセラー、ダンスクリエイター、バランスストレッチ考案、リンパドレナージュセラピスト。
 セルフケアを目標に、一人一人の個性を大切にしながらバランスストレッチを指導する中、交流分析・ゲシュタルト療法に出会う。心と身体両面からのアプローチを実践中。
 〈メッセージ〉飲み水、動きやすい服装(スカート不可)、出来れば素足になれる準備でいらして下さい。床に寝て行うエクササイズをしますので、ヨガマットまたはタオル(大きさは各自お好みで)をご用意下さい。

N 定行俊彰(さだゆき としあき) 所属団体：NPO法人みやぎダンス
タイトル：『からだの声に耳を澄ます』 805号室

〈主旨〉筋肉の緊張や痛み・不快感などからだが発するサインが何を伝えようとしているのかについて、じっくりと耳を澄ましていきます。筋緊張とその方向性に焦点を当てながら、今ここでのからだへの気づきをゆっくりと深めていきます。
 〈プロフィール〉宮城県仙台市在住、小学校教諭。宮城教育大学教育学専攻卒業、在学中に故竹内敏晴氏(演出家、元宮城教育大学教授、元南山短期大学教授)より「からだの感覚と表現」について深く学ぶ。「からだの声に耳を澄ます」をテーマで、各地でボディーワークとゲシュタルトの関連を探るワークを数多く開催からだの感覚に寄り添うワークに魅了されています。ゲシュタルトを学び始めて30年が過ぎようとしています。
 〈メッセージ〉動きやすい服装、ゆったりとした服装、会場が暖かければ素足になることもあり、バスタオルを一枚。床に横になることもあります。



ワークショップ大会 スケジュール

1 日 目	9:30	10:00	11:00	12:30	14:00	17:00	17:30	19:30
	受付 1009号 室前	開会式 1009号 室	基調講演 ジュディス・ウィーバー センサリーアウェアネス :ゲシュタルト療法における その重要性 1009号室	昼食	①センサリー・アウェアネス 1009号室 ジュディス・ウィーバー ②現象学 山口一郎 804号室 人と人の『あいだ』からみた心と身体—現象学の考察 ③アレクサンダー・テクニーク 802号室 バジル・クリッツアー 舞台上で自分自身全体であるために 《会員WS》 801号室 A:百武正嗣 フェルデンクライス~身体感覚への気づき~ B:岡田法悦 805号室 からだとの対話—感覚に聴くあなたの深層 C:藤原 勝 806号室 クリーブランド、エサレン、フィンドホーンで 学んだエクササイズ D:河村葉子 1102号室 ダンス!ダンス!!ダンス!!! E:山本 直 1101号室 身体との対話	懇親会 1202号室		

2 日 目	9:00	12:00	13:30	16:00	16:10~17:00
	①センサリー・アウェアネス 1009号室 ジュディス・ウィーバー ②現象学 山口一郎 804号室 人と人の『あいだ』からみた心と身体—現象学の考察 ③アレクサンダー・テクニーク 802号室 バジル・クリッツアー クライアントと向き合う自分自身をラクにする 《会員WS》 1201号室 F:守谷京子 身体は語る G:江夏 亮 806号室 ゲシュタルト、スーパーヴィジョン H:野妻裕美 1010号室 繊細に大胆に、からだと出会う I:山本誠司&有村 凜 805号室 繊細なからだへの気づき ~ゲシュタルト療法とフォーカシングの統合~ J:ジャクリーン・ヒルトン 10-1号室 自分と自分のからだの対話的あり方	昼食	①センサリー・アウェアネス 1009号室 ジュディス・ウィーバー ②現象学 山口一郎 804号室 人と人の『あいだ』からみた心と身体—現象学の考察 ③アレクサンダー・テクニーク 802号室 バジル・クリッツアー 日常動作にアレクサンダーテクニーク 《会員WS》 1010号室 K:道澤康子・長谷川 伸・溜 久美子・ 安田順子・沼澤知子 超初心に還ろうゲシュタルト療法 L:賀戸若江 806号室 ボディサイコセラピー体験 M:前島佳代子 10-1号室 リレーショナル・ダンス♪ N:定行俊彰 805号室 からだの声に耳を澄ます	閉会式 1009号室	



大阪国際会議場 ワークショップ会場フロアガイド

レストラン「グラントック」
"Grande Toque" Restaurant

12階

会議室 1202
Conference Room 1202

屋上庭園
Roof-top Garden

会議室 1201
Conference Room 1201

11階

会議室 1101
Conference Room 1101

会議室 1102
Conference Room 1102

10階

会議室 1009
Conference Room 1009

会議室 10-1

会議室 1010
Conference Room 1010

8階

会議室 806
Conference Room 806

会議室 805
Conference Room 805

会議室 804
Conference Room 804

会議室 801
Conference Room 801

会議室 802
Conference Room 802



ご案内

受付

1009号室前 9日 9:30~10:00
10日 8:45~9:00

※それ以外の時間は、1009号室前のボードをご覧ください。
※初日からご参加の方は、2日目は受付に寄らず、各ワークショップの
お部屋に直接お入りください。

お手荷物の預かり

事務局803号室(8階)に置いていただけます。(貴重品以外)

※スタッフが常駐しておりませんので、あくまでも自己責任でお願いいたします。
※館内のロッカーは、5階エレベーターBの付近にあります。

書籍販売

1009号室内 9日:休憩中・昼休み中
10日:昼休み中

館内の食堂

- ・OIC CAFÉ(2階)
- ・食堂「まいどおおきに」(5階)
- ・レストラン「グラントック」(12階)

お弁当ご持参の場合

部屋内で召し上がっていただけますが、空箱等のゴミはご自身でお持ち帰りください。

飲み物の自動販売機

3階・5階・10階

懇親会

1月9日(土) 17:30~19:30 1202号室(12階)

※17:30スタートですので、少し前にお越しください。お待ちしております!

名札の返却・アンケートの回収

お帰りになるとき、スタッフが回収させていただきます。

困ったとき

お近くのボランティアスタッフにお申し出ください。

※グリーンのTシャツ着用orグリーンのリボンを腕につけています。



MEMO



MEMO



第6回ワークショップ大会 in 大阪

ワークショップ開催希望者募集要項

来年（2016年）1月に第6回ワークショップ大会を大阪で開催します。会員から大会テーマに添ったワークショップ開催希望を募ります。この機会にぜひご参加ください。

【募集に関して】

- 大会テーマ：『こころと身体の統合』～気づきと体験～
- 開催日：2016年1月9日（土）・10日（日）
- 会場：大阪国際会議場
- 募集内容：大会テーマに添ったワークショップ（2時間または3時間）
- 参加資格：日本ゲシュタルト療法学会会員

【申込に関して】

- 申込：大会事務局に申込み内容を記入の上、メールにてお申込みください。
- 申込内容：氏名・所属団体名・テーマ・主旨（100字以内）・簡単なプロフィール・希望時間数（2時間または3時間）
- 締切：5月10日（日）メールにて必着
- 選考：多くの応募があった場合、こちらで選考し、お知らせいたします。

【申込先・お問合せ】

第6回ワークショップ大会事務局 田中千恵子

Email : cmtanaka@flamenco.plala.or.jp

Tel : 090-7016-0212



日本ゲシュタルト療法学会
第6回ワークショップ大会
in 大阪

大会テーマ 『こころと身体の統合』

～ 気づきと体験 ～

開催日：2016年 1月 9日(土)・10日(日)

主催 日本ゲシュタルト療法学会

大会長 平松みどり

会場 大阪国際会議場(予定)

第6回ワークショップ大会
大会長 からのメッセージ



次回の大会は**大阪**で開催致します。

体と心の「使い癖」への気づきをテーマにしました。

センサリー・アウェアネスのジュディス・ウィーバー氏
をお招きする予定です。

想像的な成長の可能性を秘めている自己を受容できる2日間にし
たいと切望しています。テーマに添う講師にご依頼をしている段階
です。決定次第、時報でお知らせします。皆様とともに意味のある
ワークショップしたいと望んでいます。



大会長 平松 みどり

皆様
詳細は、あらためてご案内させていただきます。
日程はおさえておいてくださいね！

事務局)^o^(

大会スケジュール

7月18日(土)

- 9:30 受付
10:00 開会式
10:15 **基調講演「関係的視点とゲシュタルト療法」** Lynne Jacobs博士
12:30 総会・昼食
14:15 **研究発表** (2会場に分かれて実施)
梅田福一郎(ゲシュタルト・アソシエイツ・ジャパン)
大山博幸(十文字学園女子大学)
岡田法悦(ゲシュタルト・インスティテュート)
中尾文彦(やまと精神医療センター)
藤原 勝(ゲシュタルト療法・東京)
三井洋子(長野ゲシュタルト研究会)
Jacqueline Hilton(Australian Counseling Association)
17:00 懇親会準備
18:00 懇親会

7月19日(日)

- 9:15 **理論と実践「関係的ゲシュタルト」** Lynne Jacobs博士
12:00 <昼食・休憩>
13:45 **シンポジウム「心理療法の歩みと現在」**
各心理療法の独自性と共通性
シンポジスト:
熊野宏明氏(認知行動療法)
妙木浩之氏(精神分析)
岩田真理氏(森田療法)
江夏 亮氏(ゲシュタルト療法)
コーディネーター: 檀野竹美
16:15 閉会式



〈国立オリンピック記念青少年総合センター〉
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号
小田急線 参宮橋駅下車徒歩5分

○ 参加・申し込み方法 ○

● 第6回学術大会申し込みフォーム

(下記URLまたはQRコードからお願いします)

<http://ws.formzu.net/fgen/S44927762/>

● 参加費

会員 5,000円
(学生・院生※3,000円)

一般 6,000円
(学生・院生※4,000円)

※当日学生証提示

懇親会費 5,000円



● 振込先 (大会専用口座)

三井住友銀行 東京営業部(211)

(普)3399780 檀野 竹美(ダンノ タケミ)

● お問合せ先

第6回学術大会事務局

E-mail: gakujututaiikai6@gmail.com

電話: 045-752-1759

(JAGT事務局: 平日9:00-18:00/土曜17:00まで)

第6回ワークショップ大会 『こころと身体の統合』 ～気づきと体験～

開催日 ○ 2016年1月9日(土)・10日(日)

会場 ○ グランキューブ大阪(大阪府立国際会議場)
大阪市北区中之島 5-3-51

大会長 ○ 平松みどり (アウェアネスみどり会)



○ 招聘講師 ○

ジュディス・ウィーバー氏
〈センサリーアウェアネス〉

◆ 基調講演 ◆

「センサリーアウェアネス：
ゲシュタルト療法における
その重要性」

1974年フリッツ・パールズは著書のなかでこう述べています。「これを理解することは、非常に大きな意味があるとわたしは信じている。つまり気づきとは本質的に—それによってあるいはそれ自身が—治療的であるということだ」わたしも彼と同感です。それがセンサリーアウェアネスです。わたしはこのワークを日本へ、そして日本ゲシュタルト療法学会に伝えることができ、とても嬉しくまた誇りに思っています。



○ 招聘講師 ○

山口一郎氏
〈現象学〉

◆ ワークショップ ◆

「人と人の『あいだ』からみた
心と身体」

「心と身体との相互のかかわり方」はカウンセラーにとって重要なテーマです。個々人の「心と身体をつながり」は、個々人別々の「心と身体をつながり」としてではなく、「共感したり、しなかったりする」、人々の間で共有される時間をおして生じていることです。現象学という哲学をおして、皆さんの心実感できるような、具体的事例をおして説明します。



○ 招聘講師 ○

バジル・クリッツナー氏
〈アレクサンダー・テクニーク〉

◆ ワークショップ ◆

- 「舞台上で自分自身全体であるために」
- 「クライアントと向き合う自分自身をラクにする」
- 「日常動作とアレクサンダー・テクニーク」

アレクサンダー・テクニークは抽象性と普遍性の高い手法です。まずは音楽にどのように応用されているか、舞台のあがり症を乗り越えることにどう使われるかをお話しします。そこから心理療法のワークとの接点を探ります。心理療法のワーク(姿勢、あり方、声)にも直接レッスンをする時間を設けますのでご参加ください。

* 学会員によるワークショップ紹介 *

A: 百武正嗣「フェルデンクライス～身体感覚の気づき～」

B: 岡田法悦「からだとの対話
—感覚に聴くあなたの深層」

C: 藤原 勝「クリーブランド、エサレン、
フィンドホーンで学んだエクササイズ」

D: 河村葉子「ダンス! ダンス!! ダンス!!!」

E: 山本 直「身体との対話」

F: 守谷京子「身体は語る」

G: 江夏 亮「ゲシュタルト、スーパーヴィジョン」

H: 野妻裕美「繊細に大胆に、からだと出会う」

I: 山本誠司 & 有村 凜「繊細なからだへの気づき
～ゲシュタルト療法とフォーカシングの統合～」

J: Jacqueline Hilton「自分と自分の身体のI thou 関係」

K: 道澤康子「超初心に還ろうゲシュタルト療法」

L: 賀戸若江「ボディサイコセラピー体験」

M: 前島佳代子「リレーショナルダンス」

N: 定行俊彰「からだの声に耳を澄ます」

第6回ワークショップ大会 in 大阪 スケジュール

● 1日目 ●	
9:30 ~ 受付	1009 号室前
10:00 ~ 開会式	1009 号室
11:00 ~ 《基調講演》センサリーアウェアネス 1009 号室 ジュディス・ウィーバー 『センサリーアウェアネス： ゲシュタルト療法におけるその重要性』	
12:30 ~ 昼食	
14:00 ~ 17:00	
《招聘講師WS》(要事前申込)	
①センサリーアウェアネス：ジュディス・ウィーバー	
②現象学：山口一郎 「人と人の『あいだ』からみた心と身体」	
③アレクサンダー・テクニーク：バジル・クリツァー 「舞台上で自分自身全体であるために」	
《会員WS》(登録は各部屋で先着順)	
A：百武正嗣「フェルデンクライス～身体感覚への気づき～」	
B：岡田法悦「からだとの対話－感覚に聴くあなたの深層」	
C：藤原 勝「クリーブランド、エサレン、フィンドホーンで 学んだエクササイズ」	
D：河村葉子「ダンス！ダンス！！ダンス!!!」	
E：山本 直「身体との対話」	
17:30 ~ 19:30 懇親会	1202 号室

● 2日目 ●	
9:00 ~ 12:00	
《招聘講師WS》(要事前申込)	
④センサリーアウェアネス：ジュディス・ウィーバー	
⑤現象学：山口一郎 「人と人の『あいだ』からみた心と身体」	
⑥アレクサンダー・テクニーク：バジル・クリツァー 「クライアントと向き合う自分自身をラクにする」	
《会員WS》(登録は各部屋で先着順)	
F：守谷京子「身体は語る」	
G：江夏 亮「ゲシュタルト、スーパーヴィジョン」	
H：野妻裕美「繊細に大胆に、からだと出会う」	
I：山本誠司&有村 凜「繊細なからだへの気づき ～ゲシュタルト療法とフォーカシングの統合～」	
J：Jacqueline Hilton「自分と自分の身体の I thou 関係」	
12:00 ~ 昼食	
13:30 ~ 16:00	
《招聘講師WS》(要事前申込)	
⑦センサリーアウェアネス：ジュディス・ウィーバー	
⑧現象学：山口一郎 「人と人の『あいだ』からみた心と身体」	
⑨アレクサンダー・テクニーク：バジル・クリツァー 「日常動作とアレクサンダー・テクニーク」	
《会員WS》(登録は各部屋で先着順)	
K：道澤康子「超初心に還ろうゲシュタルト療法」	
L：賀戸若江「ボディサイコセラピー体験」	
M：前島佳代子「リレーショナルダンス♪」	
N：定行俊彰「からだの声に耳を澄ませる」	
16:00 ~ 17:00 閉会式	1009 号室

◆ 参加申し込み案内 ◆

〈申込フォーム〉

- ◆PC・スマホ共用フォームURL <https://ws.formzu.net/fgen/S10646975/>
- ◆QRコード (右参照)
- ◆学会ホームページから申込みフォームにお入りください。
 内容の詳細は、日本ゲシュタルト療法学会ホームページをご覧ください。



招聘講師ワークショップのみ事前希望を受け付けます。

- ※一人の招聘講師のワークショップには、1回のみのご参加とさせていただきます。
- ※招聘講師ワークショップへの参加決定は、すべてのご希望に添えないこともございます。
- ※招聘講師ワークショップへの参加決定は、大会参加人数によって変動するため、当日受付にて結果をお知らせいたします。
- お申込み後すぐ受付完了メールが自動送信されます。自動送信メールが届かない場合は、メールアドレスの入力が間違っているか、迷惑フォルダーに入っている可能性がありますので、ご確認下さい。
- ※メールが届かない方は、下記事務局メールにご連絡ください。

〈参加費〉

★参加費 (11月1日以降に申込みまたは入金)		★早割 (10月31日(必着)までに申込み & 入金)	
会 員	30,000円	1日参加	18,000円
一 般	36,000円	1日参加	24,000円
学生会員	20,000円	1日参加	11,000円
学生一般	26,000円	1日参加	14,000円

☆懇親会費 6,800円 (1日目夜)

※学生の方は、当日、学生証を受付にご提示ください。

お申し込み後、1週間以内に合計金額をお振込ください。ご入金をもって正式なお申込みとさせていただきます。

【振込先】 三菱東京UFJ銀行 横浜支店 普通預金 4090535 口座名義：カワムラ ヨウコ ベックチ

【お問合せ】 email:ワークショップ大会事務局 gestalt.therapy.jagt@gmail.com

Tel:学会事務局 045-752-1759 平日9:00~18:00/土曜日9:00~17:00/日曜・祝日休み

ごあいさつ



第6回 ワークショップ大会は、こころと身体の「使い癖」への気づきを意識したテーマにしました。

創造的で、成長の可能性を秘めている“わたし”を受容できる2日間になれば嬉しいです。

皆さまとともに、有意義でかけがえのない体験をするワークショップ大会にしたいと望んでいます。

会場でお会いできるのを楽しみにしております。

大会長 平松 みどり

ホテルはお早めにご予約を!

ワークショップ大会は海外人気アーティストの大阪公演ツアー最終日と重なります。混雑が予想されますので、ホテルの予約が取りにくくなる可能性があります。お早目の予約をお勧めいたします。

参考 ホテル検索 & 予約サイト

(会員登録の必要なサイトがあります)

H.I.S.のスマ宿	http://www.sumayado.jp/
じゃらん ネット	http://www.jalan.net/
るぶトラベル	http://rurubu.travel/
楽天トラベル	http://travel.rakuten.co.jp/
JTB	http://www.jtb.co.jp/
ヤフービジネストラベル	http://biz.travel.yahoo.co.jp/
ヤフートラベル	http://travel.yahoo.co.jp/



グランキューブ大阪

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5-3-51

【シャトルバス】JR大阪駅 桜橋口から、隣接するリーガロイヤルホテルの間で運行され、ご利用いただけます。

【地下鉄】京阪電車 中之島線「中之島(大阪国際会議場)駅」(2番出口)すぐ目の前

JAGT 日本ゲシュタルト療法学会

第6回 ワークショップ大会

大会テーマ

こころと身体の統合
～ 気づきと体験 ～

2016年1月9日(土)・10日(日)

グランキューブ大阪
(大阪府立国際会議場)

大会の最新情報は
日本ゲシュタルト療法学会
ホームページでご確認ください。
<http://www.ja-gestalt.or.jp>

招聘講師・ワークショップ テーマ

ジュディス・O・ウィーバー氏

センサリーアウェアネス



センサリーアウェアネスのプラクティスはただ感じるということです。けれどもこのシンプルなプラクティスが、それぞれの内側に宿る豊かな自然性、確かな自分、生命力へと私たちを立ち返らせてくれます。その豊かさに支えられながら、私たちは自らの経験や感覚を深く探索してゆくのです。

1960年代、カリフォルニア州ビッグ・サーのエサレン研究所においてフリッツ・パールズからゲシュタルト・セラピーの教えを受けた。またその後、サンフランシスコのゲシュタルト・セラピー・インスティテュートにおいて他のゲシュタルト・セラピストたちからも学んでいる。

バジル・クリツァー氏

アレクサンダー テクニック



アレクサンダー テクニックは抽象性と普遍性の高い手法です。まずは音楽にどのように応用されているか、練習にどのように組み込まれるか、舞台のあがり症を乗り越えることにどう使われるかをお話しします。そこから徐々に心理療法のワークとの接点を探ります。皆さまの音楽活動や心理療法のワーク（姿勢、あり方、声）にも直接レッスンをする時間を設けます。

1984年香港生まれ 日本育ちのアメリカ人。ホルン奏者でもある。現在、BodyChanceメソッド(アレクサンダー テクニック)教師として音楽家を対象にレッスン活動を行う。

山口 一郎氏

人と人の『あいだ』からみたところと身体 —— 現象学



宮崎県に生まれ。上智大学文学部文学研究科 哲学修士課程修了。ドイツ ムンヘン大学 哲学部、哲学博士 (Ph.D) 取得。現在は東洋大学 文学部 客員教授、放送大学 客員教授。専攻 現代哲学 (現象学)、間文化哲学。

主な著書 他者経験の現象学(国文社)・

現象学ことはじめ(日本評論社)・文化を生きる身体(知泉書館)・存在から生成へ(知泉書館)・人を生かす倫理(知泉書館)ほか

プログラム

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:30
1月9日			開会式	基調講演 センサリーアウェアネス ジュディス・ウィーバー氏		昼休憩	招聘講師WS① ジュディス・O・ウィーバー氏				懇親会
							招聘講師WS② バジル・クリツァー氏				
							招聘講師WS③ 山口 一郎氏				
							会員WS (1)				
							会員WS (2)				
							会員WS (3)				
						会員WS (4)					
							会員WS (5)				

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
1月10日	招聘講師WS④ ジュディス・O・ウィーバー氏									
	招聘講師WS⑤ バジル・クリツァー氏									
	招聘講師WS⑥ 山口 一郎氏					昼休憩				
	会員WS (6)									
	会員WS (7)									
	会員WS (8)									
	会員WS (9)									
	会員WS (10)									
							招聘講師WS⑦ ジュディス・ウィーバー氏			
							招聘講師WS⑧ バジル・クリツァー氏			
						招聘講師WS⑨ 山口 一郎氏			閉会式	
						会員WS (11)				
						会員WS (12)				
						会員WS (13)				
						会員WS (14)				
						会員WS (15)				



参加費

		早割参加 (10月31日まで)		大会参加費 (11月1日から)	
		2日間参加	1日間参加	2日間参加	1日間参加
学 会 員	一般会員	25,000円	16,000円	30,000円	18,000円
	学生会員	15,000円	9,000円	20,000円	11,000円
一般参加	一般	31,000円	22,000円	36,000円	24,000円
	学生	21,000円	12,000円	26,000円	14,000円



懇親会参加費は別途かかります

詳細は8月の案内をご確認ください



大会のお申込みは、8月下旬から受付予定です。日本ゲシュタルト療法学会のホームページで案内いたします。学会員の方は、8月に届く会報と一緒にご案内をお送りします。



日本ゲシュタルト療法学会

第6回 ワークショップ大会


こころと身体の統合
～ 気づきと体験～

大会長

平松 みどり (アウェアネスみどり会)

2016年1月9日(土)～10日(日)

グランキューブ大阪
(大阪府立国際会議場)



大会長からのメッセージ

第6回ワークショップ大会を大阪で開催させて頂くことになりました。心から嬉しく思っています。ゲシュタルトの哲学を基に「今ここ」を大切に作るワークショップ大会にしたいと思っています。今回のテーマを「こころと身体の統合」にさせて頂きました。テーマに相応しい内容をと思案しました。

一つは、ゲシュタルト療法に大きな影響を及ぼした「センサリーアウェアネス」と、二つ目に、身体エネルギーを総合的に発揮する「アレクサンダーテクニーク」、三つ目に、他者の生き方に関与する私たちに欠くことのできない「現象学」をご専門の山口一郎先生をお迎えすることにいたしました。

センサリーアウェアネスは「気づき→自己・からだ・環境」との関わりです。人間の本来的なあり方に関するものです。Sensory Awareness の講師ジュディス・ウィーバー先生はセンサリーアウェアネス実践者の世界的存在です。付加させて頂くとジュディスは日本で禅を体験されました。カナダのホリホック研究所で披露して下さった日本刀真剣で舞う剣武のお姿は忘れられない魅惑的なものでした。

Alexander Technique の講師バジル・クリッツァー先生は姿勢、体の動きを掴むことで声・音が変化し、体の痛みも楽になるテクニックをお持ちの大家です。今回、会場の関係で、楽器は持ち込めませんが、声・体に関してはご指導が受けられると思います。カラオケで友人を驚かせる声の出し方をご体験してください。お勧めします。

山口一郎先生は哲学者で、その中でも難解と言われている「現象学」がご専門です。間主観性（他者との関係）からみたこころと身体のお話をしてくださいませ。

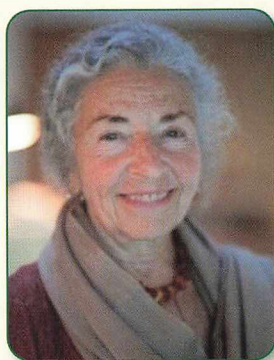
また、会員からも大会テーマ「こころと身体の統合」に沿ったワークショップを募集したところ、多くの大変興味深い内容の応募をいただきました。どうぞご参加ください。

皆様が楽しく気づき、「参加してよかった」と感じて頂ける大会にしたいと考えています。

後期高齢者の身分でありながら今回、大会長を仰せつかり光栄に思っています。ご支援ご協力を賜り感謝のこころをお伝えして大会長の挨拶にさせて頂きます。

大会長 平松 みどり

招聘講師



ジュディス・ウィーバー氏



山口 一郎氏



バジル・クリッツァー氏

ジュディス・ウィーバー氏

センサリーアウェアネス

多領域の豊富な経験を取り入れた独自のアプローチを用いて教師およびカウンセラーとして活動。ライヒ派心理学において博士号を取得。サンタ・バーバラ大学院の共同設立者の一人であり、同大学院のソマティック心理学博士課程の創設者でもある。

1960年代、カリフォルニア州ビッグ・サーのエサレン研究所においてフリッツ・パールズからゲシュタルト・セラピーの教えを受けた。またその後サンフランシスコのゲシュタルト・セラピー・インスティテュートにおいて他のゲシュタルト・セラピストたちからも学んでいる。

ライヒアン・セラピー、ソマティック・エクスペリエンス、マッサージ、バイオダイナミック・クラニオセイクラル・セラピーの資格を保持。また周産期心理学、太極拳、ローゼンメソッド、センサリーアウェアネスの分野では教師として指導を行っている。

現在、ワシントン州シアトルとブリティッシュコロンビア州コルテス島で個人開業。また世界各地で指導にあたっている。

山口 一郎氏

人と人の『あいだ』からみたところと身体 — 現象学

「心と身体との相互のかかわり方」というテーマは、カウンセラーにとって、重要で大きなテーマです。今回、私がこのテーマで強調したいことは、個々人の「心と身体つながり」は、個々人別々の「心と身体つながり」としてではなく、他の人々との人間関係、とりわけ「共感したり、しなかつたりする」、そのつど人々のあいだで共有される時間をとおして生じていることです。このことが、現象学という哲学をとおして、皆さん各自の心にはっきり実感できるような、さまざまな具体的事例をとおして分かりやすく説明します。

主な著書 他者経験の現象学(国文社)・現象学ことはじめ(日本評論社)・文化を生きる身体(知泉書館)：存在から生成へ(知泉書館)・人を生かす倫理(知泉書館) 等

バジル・クリッツアー氏

アレクサンダーテクニーク

アレクサンダーテクニークとは、19世紀生まれの俳優 F.M.アレクサンダーにちなんだ名称であり、直訳すれば「アレクサンダー法」ということになります。F.M.アレクサンダーは将来有望な俳優でしたが、声が出なくなってしまう問題に悩まされました。医療では解決しなかったため、彼は自らの声の出し方を徹底的に観察していくなかで声を取り戻し、俳優の夢を実現しました。その経験から整備されていった「やりたいことをやるための方法」がアレクサンダーテクニークです。

ホルン奏者。1984年香港生まれ日本育ちのアメリカ人。エッセン・フォルクヴァング芸術大学(ドイツ)卒業。現在、Body Chanceメソッド(アレクサンダーテクニーク)教師として音楽家を対象にレッスン活動を行う。東京藝術大学大学院、大阪音楽大学、昭和音楽大学、上海オーケストラアカデミー、浜松国管楽器アカデミーなどで講師を務める。著書に「徹底自己肯定楽器練習法」ほか。

※ 各プログラムの詳細はホームページでご確認ください

大会プログラム

1月9日(土)

9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00
	受付	開会式	基調講演 ジュディス・ウィーバー氏 センサリーアウェアネス :ゲシュタルト療法における その重要性 (仮題)	昼休憩	招聘講師 センサリー 招聘講師 人と人の『 招聘講師 舞台上で 会員ワー フェルデン 会員ワー からだとの 会員ワー クリーブラ 会員ワー ダンス!タ 会員ワー 身体との
	1009 号室	1009号室	1009号室		

1月10日(日)

9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00
招聘講師:ジュディス・ウィーバー センサリーアウェアネス				昼休憩	招聘講師:ジュディス・ センサリーアウェアネス
招聘講師:山口 一郎 人と人の『あいだ』からみた心と身体 — 現象学の考察					招聘講師:山口 一郎 人と人の『あいだ』から
招聘講師:バジル・クリツアー クライアントと向きあう自分自身をラクにする					招聘講師:バジル・クリ 日常動作にアレクサン
会員ワークショップ F 守谷 京子 身体は語る					会員ワークショップ K 超初心に還ろう ゲシ
会員ワークショップ G 江夏 亮 ゲシュタルト、スーパーヴィジョン					会員ワークショップ L ボディサイコセラピー
会員ワークショップ H 野妻 裕美 繊細に大胆に、からだと出会う					会員ワークショップ M リレーショナル・ダンス
会員ワークショップ I 山本 誠司&有村 凛 繊細なからだへの気づき～ゲシュタルト療法とフォーカシングの統合～					会員ワークショップ N からだの声に耳を澄ま
会員ワークショップ J ジャクリーン・ヒルトン 自分と自分の身体の I thou 関係 (日本語で実施します)					

15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
ジュディス・ウィーバー アウェアネス			懇親会	1202号室
山口 一郎 『あいだ』からみた心と身体 — 現象学の考察				
バジル・クリツアー 自分自身全体であるために				
ワークショップ A 百武 正嗣 クライスとゲシュタルト				
ワークショップ B 岡田 法悦 対話 — 感覚に聴くあなたの深層				
ワークショップ C 藤原 勝 ド、エサレン、フインドホーンで学んだエクササイズ				
ワークショップ D 河村 葉子 ダンス！！ダンス！！！！				
ワークショップ E 山本 直 対話				

15:00	16:00	17:00
ウィーバー アウェアネス		閉会式
山口 一郎 『あいだ』からみた心と身体 — 現象学の考察		
クリツアー ゲシュタルトテクニック		
道澤 康子 ゲシュタルト療法～ひたすら気づく～		
賀戸 若江 実験		
前島 佳代子 ワークショップ		
定行 俊彰 ワークショップ		1009号室



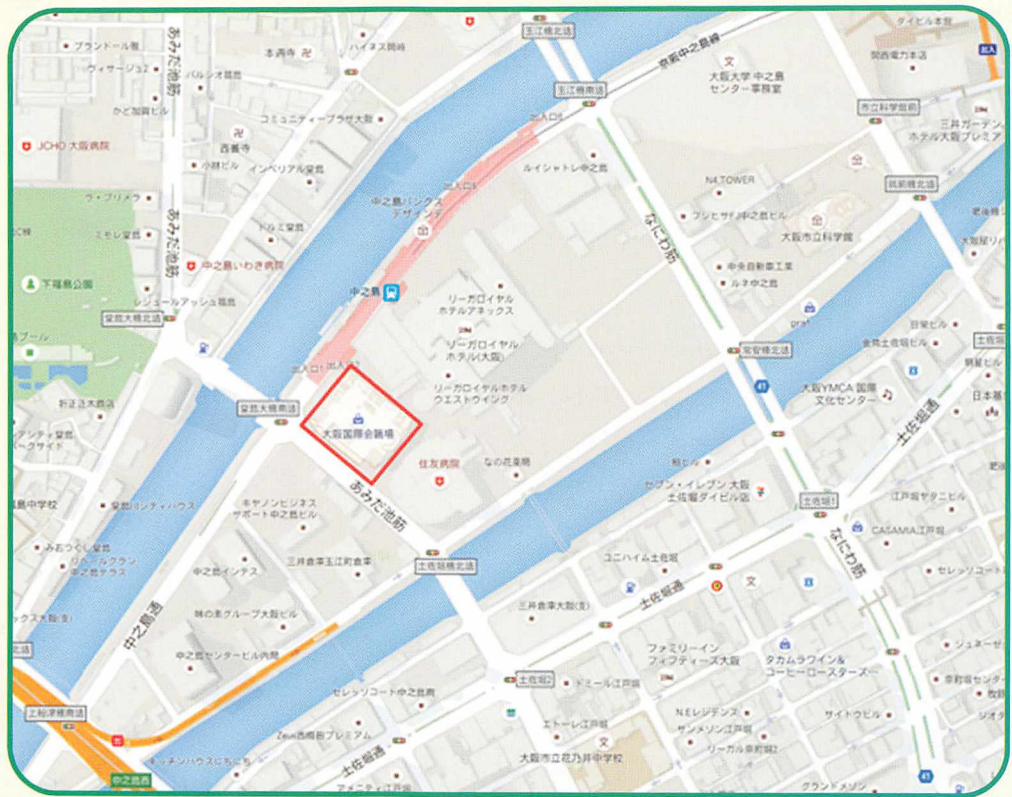
当日ボランティアを募集しています！
主に、会員ワークショップのサポーターです。
申込みフォームにチェック欄がありますので
気楽にお知らせください。



- A 百武 正嗣** 『フェルデンクライス ～身体感覚への気づき～』
赤ちゃんは手足や身体の微細な動きの中から「学習」をはじめます。意識をマイクロムーブメントに向けることで脳に刺激が伝わり、脳の発達と自己成長の道を歩んでいきます。
- B 岡田 法悦** 『からだとの対話 ー感覚に聴くあなたの深層ー』
F. パールズは「未完の事柄は筋肉の中に潜り込む」と言いました。からだは、頭よりあなたの深層（地の構造）をよく知っているのです。感覚の声を聴きからだに対話することで、新たな自分との出会いが体験できます。
- C 藤原 勝** 『クリーブランド、エサレン、フィンドホーンで学んだエクササイズ』
日本国内ではあまり知られていませんが、心や体に深く入っていくエクササイズをご紹介します。これからワークショップ開催を検討されている方にもエクササイズとゲシュタルトワークの関係などがわかるような説明をしたいと思います。
- D 河村 葉子** 『ダンス！ダンス！！ダンス！！』
感じるままに、あなたの中の感覚、あなたの中の流れに身を任せていきましょう。ここには正解も間違いもありません。上手に踊ることを考えないで！自分のリズムで歩くだけでダンスなのですから。ダンスで自分に触れる、自分と繋がる時をご一緒しましょう。
- E 山本 直** 『身体との対話』
センサリアウェアネスからゲシュタルトセラピーへの流れを基本にして、身体からの気づきを促す。様々な身体の気づきなど味わいながら「今、ここ。」を体験するワーク。
- F 守谷京子** 『身体は語る』
私は胎児の時から死にそうな病気を繰り返し、学生時代1ヶ月続けて出席したことはなく、ゲシュタルト療法に出会い初めて病気は友だちと思えるようになりました。『病気は弱いのでなく繊細なんだ!!』身体に気づき、自分らしい生き様を貫く...そんなワークショップにしたいです。
- G 江夏 亮** 『ゲシュタルト、スーパーヴィジョン』
ゲシュタルトセラピーに関して、ファシリテーター集会のようなライブスーパーヴィジョンを行います。また、個人でゲシュタルトやカウンセリングを行っているケースについての検討も希望者に行います。
- H 野妻 裕美** 『繊細に大胆に、からだと出会う』
人は本来自分のからだの感覚を信じ、世界を探索し楽しむ事が出来るのです。からだは何よりも私達自身を良く知っています。そのからだを愛しみ、繊細に、そして大胆に歩みより、今の私(からだ)と出会しましょう。
- I 山本 誠司 & 有村 凜** 『繊細なからだへの気づき～ゲシュタルト療法とフォーカシングの統合～』
ゲシュタルト療法とフォーカシングを統合したアプローチは、繊細で深い気づきと関係性を作り上げます。ゲシュタルト療法を深めるためのフォーカシングを体験してもらいます。
- J ジャクリーン・ヒルトン** 『自分と自分のからだの対話的有り方』～ヨガとゲシュタルト～
私たちの体は今まで体験したことすべて表している。一つ一つの感情、思考、経験はすべて、私たちの身体に溜まっていく。それらは、私たちが意識的に処理し、解き放つまで、佇まいや顔を形成し続ける。
- K 道澤 康子** 『超初心に還ろう ゲシュタルト療法 ～ひたすら気づくワークショップ～』
エクササイズにより3つの領域を味わい、湧き上がってくる何かに気づく。それを参加者でシェアしながら、深くゆったりと感じる静かなワークショップです。最後に声の倍音効果による共鳴と脱力でグランディングします。
- L 賀戸 若江** 『ボディサイコセラピー体験』
エクササイズにより、身体に刻まれている心の癖に気づく。ブロックのある部位(筋肉の鎧化)と生じる感情の関係。硬直の解除法(エクササイズ体験)グラウンディング、フェイスング、センターリングのエクササイズ。
- M 前島 佳代子** 『リレーショナル・ダンス』
ゲシュタルトは、自分を大切にすることだと思っています。頑張っている自分、無理している自分に気づいたら、少し呼吸を変えてみませんか？肩の力が抜けて、身体が軽くなります。一緒に感じてみませんか？
- N 定行 俊彰** 『からだの声に耳を澄ます』
筋肉の緊張や痛み・不快感などからだが発するサインが何を伝えようとしているのかについて、じっくりと耳を澄ましていきます。筋緊張とその方向性に焦点を当てながら、今ここでのからだへの気づきをゆっくりと深めていきます。

会場案内

グランキューブ大阪 (大阪府立国際会議場) 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51
【交通】地下鉄 京阪電車 中之島線「中之島(大阪国際会議場)駅」2番出口すぐ目の前
シャトルバス JR大阪駅 桜橋口から、隣接するリーガロイヤルホテルまでのシャトルバスを
ご利用いただけます。(乗り場:桜橋口改札を出て右側ガード下)



ホテルのご案内

ホテルは各自でご予約ください

ホテルはお早めにご予約を！

ワークショップ大会は、海外人気アーティストの大阪公演ツアー最終日と重なります。
混雑が予想されますので、ホテルの予約がとりにくくなる可能性があります。
お早目の予約をお勧めいたします。

会場周辺のホテル

リーガロイヤルホテル	グランキューブ大阪に隣接	http://www.rihga.co.jp/osaka/	
ホテルNCB	グランキューブ大阪より徒歩約6分	http://www.hotel-ncb.co.jp/	ほか

ご参考 ホテル検索&予約サイト

H.I.S.のスマ宿	http://www.sumayado.jp/
じゃらん ネット	http://www.jalan.net/
るるぶ トラベル	http://rurubu.travel/
楽天 トラベル	http://travel.rakuten.co.jp/
JTB	http://www.jtb.co.jp/
ヤフービジネストラベル	http://biz.travel.yahoo.co.jp/
ヤフートラベル	http://travel.yahoo.co.jp/

参加申込み案内

- お申込みは次の3つの方法のうち、いずれかでお申し込みください。
 - a) PC/スマホ共用フォーム URL <https://ws.formzu.net/fgen/S10646975/>
 - b) QRコード 右参照
 - c) 学会ホームページ URL <http://www.ja-gestalt.org/>
- お申込みが完了すると、申込み受付完了の自動返信メールが届きます。
メールが届かない場合は、お申込みが完了していない可能性もあります。下記 問合せ先にお問い合わせください。
- **お申込み後、1週間以内にお振込をお願いいたします。**ご入金をもって正式なお申込み受付とさせていただきます。
※ 迷惑メールフィルターがかかっていると、自動返信メール、事務局からのご連絡が届かない場合があります。
gestalt.therapy.jagt@gmail.com のアドレスからのメールを受信できるように設定をお願いします。



《 ご了承ください 》

招聘講師ワークショップの参加について

- ※ 招聘講師ワークショップは、申込み時に事前希望を取ります。
- ※ 一人の招聘講師のワークショップには、1回のみのご参加とさせていただきます。
- ※ 招聘講師ワークショップへの参加決定は、すべてのご希望に添えないこともございます。
- ※ 招聘講師ワークショップへの参加決定は、大会参加人数によって変動するため、当日受付にて結果をお知らせいたします。

会員ワークショップの参加について

- ※ 会員ワークショップは事前希望を取りません。登録は、当日各会場での先着順になります。(人数限定)

お問合せ先 お申込み方法等各種お問い合わせはこちらへ

メール gestalt.therapy.jagt@gmail.com [ワークショップ大会事務局]
電話 045-752-1759 (受付時間 平日 9:00~18:00/土曜日 9:00~17:00) [学会事務局]

参加費

		大会参加費		早割参加費	
		11月1日以降にお申込みの方		10月31日(土)までに申込み・入金をされた方	
		2日間参加	1日参加	2日間参加	1日参加
学 会 員	一般会員	30,000円	18,000円	25,000円	16,000円
	学生会員	20,000円	11,000円	15,000円	9,000円
一般参加	一般	36,000円	24,000円	31,000円	22,000円
	学生	26,000円	14,000円	21,000円	12,000円
懇 親 会 費		6,800円			

- ご注意**
- ※ 早割参加費は、10月31日(土)までに、**申込みかつ入金を済まされた方**が対象となります。
 - ※ 学生の方は、当日受付で**学生証をご提示**ください。
 - ※ キャンセルポリシーについては、ホームページをご覧ください。

お振込先

お申込み後、1週間以内にお振込をお願いいたします。ご入金をもって正式なお申込みとさせていただきます。

金融機関 三菱東京UFJ銀行 横浜支店 普通預金 4090535
口座名義 カワムラ ヨウコ ベツクチ